

70周年記念ロゴができました!

プロジェクトメンバーで、「イベントだけでなく記念になるものもあれば」と話し、ロゴマークを作りました。みんなが一緒になって旗を掲げ、未来へ向かっていく大分県福祉会であってほしいという気持ちが込められています。ステッカーやクリアファイル、資料などいろんなところへ展開しています。イベントはどうでしたか? 楽しみながら、各施設の仕事情や魅力を再認識し、新たな動きが生まれる機会にしていきたいです!



健康1番!

コロナ禍でそれまで当たり前できていたことが難しくなってから早3年。気が付けば何もないところつまづくようになり、体力の衰えを感じ始めた自分に一喝! 「これでいいのか? 人生100年時代」とばかりに、明野しいのみ保育園で取り組んでいる丈夫な身体づくりに自らも参戦し、個人でキックボクシングに通っています。大切なのは、定期健診と日々の健康な身体づくり。「元気があれば何でもできる。1、2、3、ダ〜ッ!」と自分自身を鼓舞しているこの頃です。

明野しいのみ保育園・主任保育士 児玉美葉

TOPICS

森の木 思い出に残る1泊2日

1泊2日のユニット親睦旅行に出かけました。複数のコースから子どもの希望を聞き、九州圏内の動物園や遊園地などへ。子どもも職員もこれまで思うように出かけられなかった分、目を輝かせ、ヘトヘトになるまで存分に遊びました。



別府厚生館 久しぶりの小旅行を楽しみました♪

行楽の秋、親子レクリエーションでハーモニーランドへ行きました。入所中の家庭はさまざまな事情で、あまり遠出の機会がありません。秋晴れのもと、家族みんなで久しぶりの小旅行に、お母さんも子どもたちも大喜び。笑顔溢れる1日でした。



滝尾保育園 祖父母のみなさんと楽しいひととき☆

核家族化が進み、世代を超えた関わりが少なくなっていることから、今年度からスタートした「祖父母DAY」。今回は1歳児クラスで開催。積み木遊びや、戸外で砂場遊びやうんていをして、おじいちゃんおばあちゃんと楽しく過ごしました。



明野しいのみ保育園 50周年記念親子レクリエーション

来年4月に開園50周年を迎えることを記念して、「みんななかよきのびあそぼう〜ホップ・ステップ・ジャンプ」をテーマにイベントを開催しました。マットや鉄棒、平均台などの「体育遊び」を保護者と一緒に行いました。



うえの園 年に1度のお楽しみ会

大分市内の障がい者施設が集まる運動会「あおぞらフェスタ」の代わりに、お楽しみ会に行ってきました。野津原道の駅に到着後、おのこの好きな物を購入し嬉しそうに飲食していました。昼食は七瀬川公園でお弁当を美味しくいただきました。



清明あけぼの学園 初めてのヤマメ釣り

秋季レクで道の駅おづのの近くに、ヤマメ釣りに行ってきました。苦戦しながらも釣果はみんなで合計16匹。釣ったヤマメはその場で焼いてもらいました。普段は魚が苦手な児童も「ふわふわでおいしい」と、頭から尻尾の先まで完食していました。



イチローの部屋 第7回 私たちは未来の福祉をどうつくるのか? (前編)

時代とともに、施設運営はハードもソフトも変わる必要があります。たとえば、利用者の方が自立を目指して働くとき、本質的な自立支援を考えると、本人が体調に合わせて休んだり、仕事の強度を変えたり、新しい仕事を覚えたりという柔軟な職場が理想でしょう。でも、実際にそんな職場を見つけるのは大変です。そう思うと(いろいろな条件はいったん横に置いて)、職場になる場所が施設に併設されていたら、より良い支援になるかもしれません。一方、福祉サービスと経営を成り立たせるのはとても難しい課題です。充実させたいサービスや施設改修の希

望があっても、経営的に足腰が弱ければ、国や自治体の補助金や助成金の枠組やタイミングに合わせていか物事を進められません。それを克服できたら、より私たちに思いの福祉や支援が可能になるでしょう。また、法人単体で業界の当たり前を変えようとするハードルが高いですが、関連団体や大学と連携し、議論することは小さくても始められるはずです。いずれにしてもこれからは、自分たちで理想を描き、実現、マネジメントできる体力や他者を巻き込む力がないと、受け身では何も変えられないと感じています。

社会福祉法人大分県福祉会社内報ぎゅっ第7号  
発行日 2022年12月15日 / 発行元 社会福祉法人大分県福祉会 / 制作担当者 藤岡大樹、安部浩、米野智恵、宮成俊佑、後藤美佳、岩崎祐貴、城戸海咲妃、浅利桃子、江田望、重田綾、若林歌織 / 編集 竹尾真由美 / デザイン UN/design farm  
連絡先 syannahou@gmail.com



特集

滝尾保育園

子どもたちの「第二の家庭」を目指して



# 子どもたちの「第二の家庭」を目指して

保育方針を「第二の家庭」としている滝尾保育園。子どもたちの生きる力を伸ばすためにどのような工夫や努力がされているのか、取材を通して気づくことができた沢山の魅力をお伝えします。

## 生きる力を伸ばす保育

現在、園児216名を受け入れ、同じ敷地内で放課後児童クラブも運営している滝尾保育園。2016年から保育方針を「第二の家庭」とし、子どもたちの生きる力を伸ばす保育や環境への配慮に力を入れています。例えば、子どもたちは自分で遊びたいものを選択したり、職員を「〇〇先生」ではなく「〇〇さん」と呼んだり、保育士は私服に近い服装で接します。より家庭環境に近づけ、子どもたちも保護者も安心できる場所にしたいという意図があるそうです。

また、朝夕の保護者の方とのちょっとした会話やブログなどを通して、毎日の様子をお知らせしたり、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に遊ぶ「祖父母DAY」を設けたり、みんなで子どもたちの成長を見守る雰囲気があります。実際に訪れると、園はとても開放的です。園長の堤郁夫さんは、赴任した3年前の印象を「子どもたちが純真で明るく、希望に満ち溢れている。成長が楽しみだと感じた」と



絵本の取り組みに力を入れています

振り返ります。

## 日々の改善の積み重ね

保育のあり方も

日々変化する時代。2016年に保育方針を改めてからは、2ヶ月に1度、外部のアドバイザーを招き、0～5歳児それぞれの部屋の環境を見てもらい、保育の悩みやアイデアについて相談する機会もあります。はっと気づかされることも多く、今後の保育の見直しを持つことができるとても良い機会になっているそうです。1歳児の担任をしている新名 康代さんは、「保育はすぐに結果が出る仕事ではありませんし、難しいと感じることもありますが子どもたちの成長を目の前で見られるのがやりがいです」。4歳児の担任の細井 愛可さん、管理栄養士の横山 智美さんは、滝尾保育園の好きなところを「職員同士の雰囲気が良く、先輩後輩関係なく、どんなことでも相談できる場所」だといいます。インタビュー中も、職員



絵本の中に出てくるメニューを出すこともあります



子どもたちと同じ目線で毎日一緒に遊んでいます

のみなさんの温かさを感じる場面が何度もあり、その言葉を実感しました。園児も保護者も、職員も安心でき、穏やかで働きやすい雰囲気、たくさんの魅力にあふれている滝尾保育園。それも日々の改善や努力、意識の賜物だと思えました。

(取材 清明あけぼの学園 後藤 美佳)

## スタッフ紹介



園長  
つづみ いくお  
堤 郁夫さん  
週4回の  
ウォーキングで  
健康増進しています。



管理栄養士  
よこやま ともみ  
横山 智美さん  
コロナが落ち着いたら  
劇団四季を観に  
行きたいです。

## どんな仕事?

### 管理栄養士

給食の献立を考えて栄養計算をします。また、滝尾保育園では絵本を積極的に保育に取り入れているため、絵本の世界観と給食を連動させた食育をすることもあります。

## 職員のある1日

6:30 解錠、換気、清掃など	7:00 受け入れ、出欠把握、室内整理整頓や室内遊びのためのチェック、保育(室内遊び、戸外遊び等)	10:40 給食(年齢ごとに時間帯が異なる)、午睡、おたより帳記入、事務仕事	14:30 引き継ぎ	15:00 おやつ準備、片付け、帰りの会、降園準備、保護者対応	18:00 延長保育(全クラス さくら組へ)	19:00 遅番2名で対応 おやつ、ゴミ出し、食器洗い、窓閉めなど
--------------------	--	---	---------------	------------------------------------	---------------------------	--------------------------------------

# マイブーム 教えてください!

私のマイブームは...

## 自転車

です!



別府厚生館  
さわだ じゅんこ  
澤田 順子さん

近頃、年を重ねるごとに健康的な生活を意識するようになったことや友人の影響もあり、今年は自分への誕生日プレゼントとしてクロスバイクを購入しました。初心者なのに緊張感を持って乗ると、見慣れた景色が新鮮に見えてきます。趣味が体力づくり、ダイエットにもつながることを期待しながら、今度の休みはどこを走ろうかと考えるのが楽しみになっています。ぜひこの爽快感をお勧めします。



自転車を通じて出会う人や自然に癒されます

## 自転車の豆知識

自転車で坂道を登るいい方法として、サドルの少し前に座ると足に力が入り、楽に登ることができると友人に教えてもらいました。長距離走行は体力が必要なので、経験者からのアドバイスが役立っています。

## だいふく文庫

### 自律神経を整える

著者 小林 弘幸  
出版社 プレジデント社

選・明野しいのみ保育園 伊藤 麻衣子さん

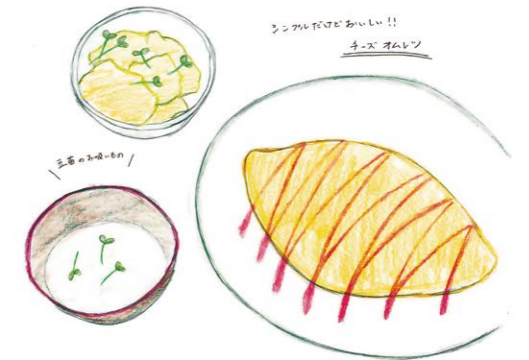
コンビニに立ち寄ったときにふと目に留まった1冊。新型コロナウイルスの影響もあってか、何となく体と心が安定しない日々が続いていたので、自律神経というワードに引かれて購入しました。コロナ禍のさまざまな制約があるなかで過ごすことで、知らず知らずのうちにストレスを抱えていることがあるそうです。この本での学びは、私の今の生活のビタミン剤となっています。

## お気に入りの一文

自律神経はアクセル(交感神経)とブレーキ(副交感神経)のバランスがカギ

次は、清明あけぼの学園 東 純子さんです お楽しみに!

# 味なランチレポート



## Café giraffe のチーズオムレツ

私のおすすめは大分市府内町にあるカフェ・ジラフです。「ジラフ」という名前のおり店内にはキリンの絵やグッズがたくさん飾られており、画家の北村 直登さんの絵もたくさんあります。カフェですが優しい味のおいしい定食も味わえます。私はチーズオムレツがおすすめですが、日替わりランチも魅力的です。小さくて、温かい雰囲気漂う素敵なお店。ぜひ、1度訪れてみてください。

レポーター



森の木  
すすき  
鈴木 まりえさん

# あの子に会いたい

妹思いで友達にも優しく、今、どうしてる?



滝尾保育園  
たかだ ゆうた  
高田 裕太さん



年少から卒園まで3年間通ってました。あのころから食べることが好きで、体格の良い子どもでした。保育園の友達とは今でも仲が良く、思い出話をすることもあります。現在は、父親が居酒屋を営んでいたことや経営に興味があったため居酒屋経営をしています。10月にオープンした2店舗目、居酒屋「ながつき」で使っている囲炉裏を、今後は海外に広める活動もできたらと思っています。